蔵王町財務書類（統一的な基準）　-概要版-　（令和２年度　一般会計）

財務書類の公表

地方公会計制度での財務書類については、H20年度決算からの作成・公表が必要となり、蔵王町では「総務省方式改定モデル」により財務書類を作成してきました。
しかし、複数の基準があったことから、H26年度に財務書類の「統一的な基準」が示され、H29年度までに財務書類の作成が必要となりました。
蔵王町では、H26年度決算から「統一的な基準」による財務書類の試作を行い、H27年度決算から公表しております。

財務書類でわかること

住民一人あたり		純資産比率	負債比率
資　産	159万円	69.4% 企業会計でいう「自己資本比率」に相当し、この比率が高いほど財政状況が健全であると言えます。〔純資産/総資産〕	44.1% 純資産に対する負債の割合を表すもので、この比率が低いほど財政状況が健全であると言えます。〔負債/純資産〕
うち現預金	20万円		
負　債	49万円		
うち借金	39万円		
純行政コスト	64万円		

貸借対照表

行政サービスを提供するために保有している資産と、その資産をどのような財源（負債・純資産）で賄ってきたのかを示したものです。

（単位：百万円）

資産の部		負債の部	
1　固定資産 （事業用、インフラ資産、その他、基金など）	17,690	1　固定負債 （地方債など）	5,017
		2　流動負債 （地方債翌年度償還金など）	657
		負債合計	5,674
2　流動資産 （未収金、財政調整基金など） うち現金預金　297	851	純資産の部 国・県及び過去世代が負担した分	
		純資産合計	12,867
資産合計	18,541	負債及び純資産合計	18,541

連結

全体

一般会計

特別会計：国保、介護、後期高齢

企業会計：病院、水道、下水

一部事務組合等
仙南地域広域行政事務組合、白石市外二町組合、非常勤消防団員補償報償組合、後期高齢者広域連合、市町村自治振興センター

行政コスト計算書

人的・給付サービスの提供など資産形成以外の行政活動に要したコストと、財源となる使用料・手数料などの収入の関係を示したものです。

（単位：百万円）

1　経常費用		7,410
（内訳）		
(1) 経常業務にかかるコスト		3,969
①　人にかかるコスト	1,508	
②　物にかかるコスト	2,404	
③　その他コスト（支払利子など）	57	
(2) 移転支出にかかるコスト （補助金等、社会保障給付など）		3,441
2　経常収益 （使用料・手数料、諸収入など）		152
3　臨時損失 （災害復旧、出資金強制評価減など）		207
4　臨時利益 （資産売却益など）		0
純行政コスト（1-2+3-4）		7,464

資金収支計算書

1年間の行政活動の資金の増減を3つに区分して示したものです。

（単位：百万円）

1　期首資金残高	248
2　期中増減額	△ 15
（内訳）	
(1) 業務活動収支	415
(2) 投資活動収支	△ 445
！基礎的財政収支（利払後）	△ 30
(3) 財務活動収支	15
3　期末資金残高（1+2）	234
4　期末歳計外現金残高	63
期末現金預金残高（3+4）	297

！基礎的財政収支（プライマリーバランス）がゼロ以上であれば、借金に依存しない財政運営が行われたことになります。

純資産変動計算書

純資産が1年間でどのように増減したかを示したものです。

（単位：百万円）

1　期首純資産	13,002
2　期中増減額	△ 135
（内訳）	
(1) 純行政コスト	△ 7,464
(2) 税収等、国県等補助金	7,360
(3) 評価損益・所管換など	△ 31
期末純資産残高（1+2）	12,867

※単位未満を四捨五入しているため、一致しない箇所があります。